



国内文献目次

電子情報通信学会関係の文献のみ掲載

映像情報メディア学会誌 66, 6 (2012-06)

特集 人工衛星・探査機からの映像およびリモートセンシング

応用物理 81, 6 (2012-06)

テラヘルツ波検出 GaN トランジスタの開発

オペレーションズ・リサーチ 57, 6 (2012-06)

特集 ランキングとレイティング

計測と制御 51, 5 (2012-05)

特集 小型衛星を用いたセンシングアプリケーション—日本航空宇宙学会・計測自動制御学会共同企画—

照明学会誌 96, 5 (2012-05)

東京国際空港(羽田)国際線ターミナルの照明

96, 6 (2012-06)

世界をリードするための言葉

知識と情報 24, 3 (2012-06)

特集 データマイニング

電気学会誌 132, 5 (2012-05)

鉄道の安心安全技術Ⅰ ～架線を監視する新しい目～

132, 6 (2012-06)

鉄道の安心安全技術Ⅱ ～駅のホームに用いられるさまざまな技術～

日本音響学会誌 68, 6 (2012-06)

音素の功罪

日本物理学会誌 67, 6 (2012-06)

ヒッグス粒子に迫る



図書寄贈一覧

(216) 有機半導体のデバイス物性, 安達千波矢(編者), 初版, 本体

3,800円+税, 講談社(2012.4.1), 6/20 受付

(217) 現代電子情報通信選書「知識の森」画像入力とカメラ, 寺西信一

(監修), 電子情報通信学会(編), 初版, 本体5,000円+税,

オーム社(2012.6.25), 6/22 受付

<海外からの寄贈本>

(322) 電子工学会誌, vol. 39, no. 5, May 2012 (韓国)

(323) 電子工学会論文誌-TC, vol. 49-TC, no. 5, May 2012 (韓国)

(324) 電子工学会論文誌-SD, vol. 49-SD, no. 5, May 2012 (韓国)

(325) 電子工学会論文誌-CI, vol. 49-CI, no. 3, May 2012 (韓国)

(326) 電子工学会論文誌-SP, vol. 49-SP, no. 3, May 2012 (韓国)

(327) 電子工学会論文誌-SC, vol. 49-SC, no. 3, May 2012 (韓国)

編集室

* 5月21日の金環日食, 6月6日の金星の太陽面通過, 7月1日のうるう秒補正, そして「宇宙兄弟」のTV放送開始と映画化等々, 2012年は空を見上げ, 地球という視点で見て考える機会が多い。金環日食は多くの方が日食グラスをかけて自身の目で見たのではないだろうか。朝7時30分頃ということもあり家族や友人と一緒に感動を共有した方も多かったかもしれない。グラス越しの赤いリングは大きな感動を与えてくれた。金星の太陽面通過はあいにく天候が悪く直接は見ることができなかった。次回は何と105年後の2117年だそうだ。残念極まりない。

* うるう秒。地球の自転に基づく時刻(世界時)が原子時計で計られる時刻(原子時)と比べ, 地球の自転がほんの少し遅いことからずれる。このずれを補正するために「うるう秒」として「1秒」を追加する。7月1日の8時59分59秒の後に60秒として挿入された。1972年から始まり今回で25回目, 3年半ぶりだそうだ。このうるう

秒も, 不定期に補正が必要となりコンピュータが誤動作を引き起こす恐れがある等の理由から廃止論が強まっている。そう, 早ければ3年後には廃止される可能性もあると聞いた。もしかしたら今回が補正納め? 継続, 廃止それぞれ一長一短あるので, 各国, 各団体ともそれぞれの立場で賛否両論譲らずの状況だそうである。結論を興味深く待ちたい。

* 会誌の編集委員会も6月から新体制となった。通信分野を担当するWG・Bでは18人中の8人が入れ替わったが, 特集号の企画ほか, 慣らし運転もなくいきなりトップギアで走り始めている状況である。来年5月までの体制となるが, メンバー一丸となって, 流行の情報通信技術やサービスに着目し, 「今」を伝えることはもちろん, できる限り「未来像」, 「方向性」を考えるヒントを提供できることを目指して取り組んでいきたい。

(編集特別幹事 源田浩一)